

かわねほんちょう 議会だより

第16号

平成21年11月発行

発行/川根本町議会
編集/議会だより
編集委員会

広島県安芸高田市 梶矢神楽団
「鐘馗」の舞

もくじ

- | | | | |
|------------|-----|----------|-----|
| ○議長・町長あいさつ | 2 | ○一般質問 | 6~8 |
| ○議会構成 | 3 | ○議員選出役職員 | 9 |
| ○決算審査の報告 | 4~5 | ○議会日誌 | 10 |

新しい議会構成決まる



議長 板谷 信

町（役場）が行う仕事は、そんなに変わるものではありません。企画の部分にその時代を反映した目新しい事業が出てくるとしてもほとんどは変わることのない住民の生活に密着した行政サービスです。またそのことが地方自治体（地方政府）の存在意義であると思

います。必要な行政サービスをいかに効率良く確保・公平に行うかが、行政にたずさわるもの

には求められます。そのことを継続的に可能にするために、機能的な役割組織が必要となり、その活動をチェックする議会や監査機関が重要なものとなります。

議会の組織については、活動の中心は二つの常任委員会であり、所管の問題について常に対応できる体制をとっておく必要があります。議長と議長の相談機関である議会運営委員会は、常任委員会をはじめとする議員の活動が十分に行われ

けるのが仕事となります。議会としての役割と組織がきつちりと自覚されてはじめて、住民への行政サービスがより適切により効率的に行われているかをチェックする職責はたせるのだと思います。

今回住民のみなさんから12人の議員が選ばれました。個性ある12人の議員がそれぞれの能力とやる気を最大限に発揮し、住民に信頼される議会をつくっていくことをお約束します。



副議長 高畑 雅一

このたび副議長の重責を担うこととなり、その職責の重大さを痛感しております。合併を4年が経ち、本町は、住民とともに、地域の再生、振興に取り組んでおります。

このたび副議長の重責を担うこととなり、その職責の重大さを痛感しております。合併を4年が経ち、本町は、住民とともに、地域の再生、振興に取り組んでおります。

こうした中、議会が解決すべき課題が山積しております。住民の皆様の御意見を真摯にお聞きし、町づくりを行ってまいりたいと思っております。私自身、副議長として、職責をはたして参りますので、町民の皆様のご協力を心からお願い申し上げます。

佐藤公敏町長より びゅうわん



政権交代により、行政の進め方が官僚

主導から政治主導へ、そして中央集権から地方主権へと大きく変わろうとしております。これからのまちづくりは地域自らの創意と工夫で進めなければなりません。議員の皆様とは、こ

れから議会と行政と立場を守りながらまちづくりを議論していくことになりませんが、川根本町の発展のため精一杯頑張りますので、ご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

第一常任委員会

委員長あいさつ

議会活動の根源は、委員活動にあると考
えま
す。この事を心し
て活発で意義ある委
員会活動を目指しま
す。



市川 昌美



副委員長
山本 信之



委員長
中澤 智義



森 照信



鈴木 多津枝



板谷 信

第二常任委員会

委員長あいさつ

第二委員会は、産業・経済・教育を担当し
ます。今後、委員六人の皆様の
ご意見を反映したく思
います。



高畑 雅一



副委員長
小籾 侃一郎



委員長
中田 隆幸



中野 暉



太田 侑孝



原田 全修

議会運営委員長あいさつ

山本信之

議員各位からの力強いご支援をいただき、議会運営委員長を務めさせていただきます。「明るく、住みよい町づくり」のために、一層努力し精進する事を誓い、身を引き締め、て頑張つて参ります。

監査委員の紹介



代表監査委員
柳原 義六 氏

当町は「行政改革大綱」に基づき、行財政の健全化を進めています。限られた予算の中で町民サービス・福祉向上が図られるよう監査していきたいと思
います。

今回、監査委員に選任され、その重要性を強く感じております。 ※議会選出監査委員は森照信議員に決まりました。

一部事務組合議会議員選挙当選者

駿遠学園管理組合議会議員
川根地区広域施設組合議会議員

原田 全修

原田 全修

太田 侑孝

中野 暉

特別会計決算を認定

町税内訳の推移

(単位：千円)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
町 民 税	344,969	323,308	328,159	402,447	399,826
固 定 資 産 税	931,894	907,846	870,680	859,756	985,795
軽 自 動 車 税	18,710	18,974	19,373	19,951	20,202
町 た ば こ 税	34,819	32,598	33,052	31,870	29,117
入 湯 税	10,465	9,759	9,691	8,960	8,130
町 税 合 計	1,340,857	1,292,485	1,260,955	1,322,984	1,443,070

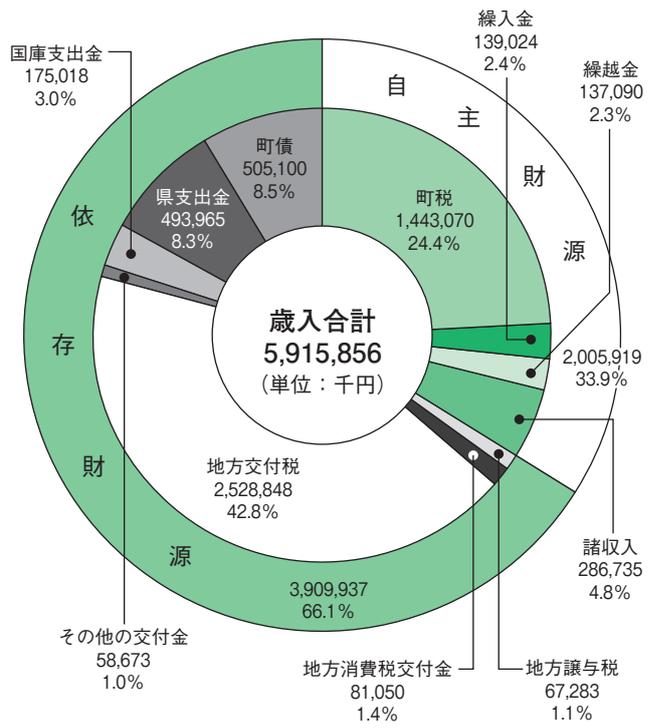
9月議会開会翌日の3日、10日まで20年度決算特別委員会が開かれ、各課毎に審査を行いました。一般会計決算は歳入で昨年に比べ5千462万円増えたのに対し、歳出では1億2千928万円減り、歳入・歳出差し引きで3億2千98万円の黒字でした。

旧本川根役場跡地に地域振興センターが完成。20年度末まで総額3億6千万円支出の内1億6千万円を合併特例債で、1億1千万円を庁舎建設基金で、8千500万円の合併交付金を充て、基金残2億8千万円は財政調整基金に入れて町財政の運用に充てる方針です。14年からの長島ダム交付金は、18年まで½でしたが、19～23年は¾に、25年以降は100%に増えます。一方、評価額が下がり24年以降は減るそうです。



業務が始まった地域振興センター1階の総合支所

一般会計歳入の内訳



バス路線運行経費は10月から運行管理者の設置が義務付けられ、半年分で368万円を大新東へ追加支払い、総額1千768万円でした。内、運賃収入が239万円、県補助が366万円、町持ち出しの8割が国庫より入ります。もっとも乗りやすくなるための町民からの

関する本の寄付を全国に呼びかけて約5万冊の本が集まりました。現地調査で訪れるとログハウス調の建物は明るく気持ち良いものでしたが、蔵書の整理が追いつかない状況で、同行した町長も人員確保を約束しました。

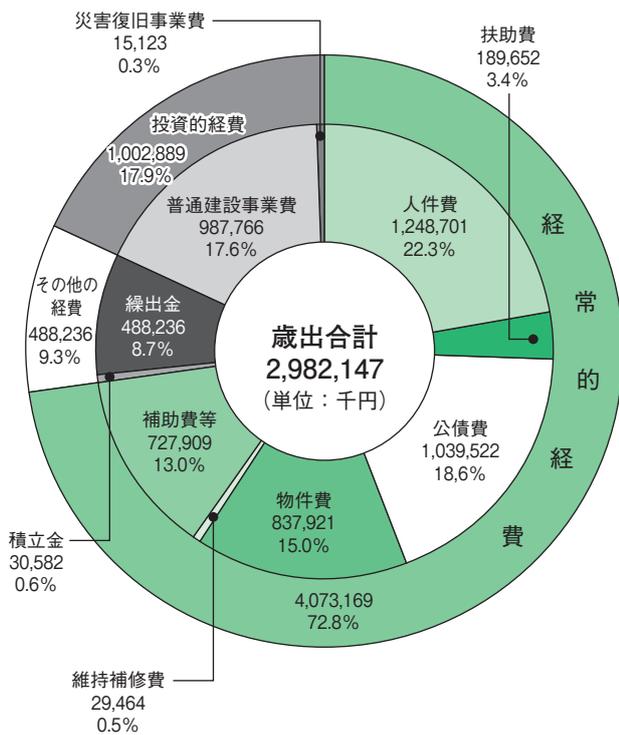
平成20年度一般会計

基金残高の推移

(単位：千円)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
財政調整基金残高	1,097,264	907,649	908,339	891,250	893,197
減債基金残高	87,590	47,907	37,917	26,976	27,227
国民健康保険給付等支払準備基金残高	162,421	162,432	188,934	214,117	205,244
簡易水道	85,424	111,442	105,219	108,537	111,614
温泉事業	9,878	9,878	9,884	9,907	9,934
起債残高	6,588,417	6,556,378	7,398,937	7,826,638	7,419,160

一般会計歳出の内訳



要望が協議されました。補助金の見直しが行われ、大幅削減で運営に苦慮している団体や活動を縮小せざるを得ない団体が出ているなど、実態に見合った補助が要望されました。

夏休みの学校のプール使用が1週間程しかなかったことで、来年はぜひB&Gのプールが使えるようバス運行などの検討が求められました。他にも沢山の意見や要望を報告書にまとめました。



山岳図書館 現地調査

特別会計歳入歳出決算額

(単位：万円)

		国民健康保険	老人保健	介護保険	後期高齢者医療	簡易水道	温泉事業	いやしの里診療所
歳入決算額	19年度	11億5,010	12億8,775	8億6,113		4億3,130	2,272	3,539
	20年度	11億1,388	1億3,426	9億2,720	9,682	2億4,628	2,624	4,706
歳出決算額	19年度	10億2,241	12億8,775	8億4,911		4億2,076	2,224	3,539
	20年度	9億8,209	1億3,426	9億2,659	9,674	2億4,544	2,603	4,705
繰越額	19年度	1億2,769	0	1202		1,054	48	0
	20年度	1億3,179	0	61	8	84	21	1
21年度当初予算額		10億5,100	720	9億4,770	1億1,450	2億4,430	2,360	4,010

問 ●要援護者への避難支援は

答 ●各地区にヘリポートを整備



山本信之議員

質問

8月11日早朝の

地震の時、区内を走り廻り、被害の無いことを確認しました。被害微少と聞き、胸を撫で下ろすと同時に、一人暮らしの高齢者の方、重度障害者の方への避難支援対応策が万全と言えるのだろうか：川根本町において、危機管理のまず最初に何を置いて、生命の安全を確保すべく避難支援プランの策定は、どの程度確立整備されているのか？町長にお聞き致します。

町長

突発的な地震が起きた場合など、地域を核とした助け合いが



牧之原市の被害家屋

必要であり、また町といたしまして、さらに、けがを負われた場合などを想定し、各地区にヘリポートとして使用できる空き地等の確保・点検あるいはリスト化を図って、そうした場合にも備えるつもりであります。また、このリストに関しては、日々変化するものでありますので、完璧なものとは考えておりませんが、常に地域の方々の情報を得ながら更新し、また地域の方々もこうした要援護者リストを核としながら情報更新に努めていただきますと考えております。



町防災訓練

問 ●新町が誕生し2期目を迎えようとしている町長は川根本町1期の施政をどう総括するか

答 ●この4年間は財政制度の調整など地ならしの期間であった次の4年間は真の川根本町の立ち上げだろうと思っている



原田全修議員

質問

当町の主要産業

である茶業、林業、観光について、この4年間の施政の成果について伺う。

質問

雇用の場の創出、定住化の施策等による人口流出・人口減少防止策の成果について伺う。

町長

【茶業】全国茶品評会では常に煎茶の部では上位入賞で日本一のブランド力を発信してきた。天空の茶「奥光」の新ブランド化やグリーンティーツーリズムツアーなどによる振興策を図ってきた。碾茶への取り組みは今後必要と思う。耕作放棄地問題へは5カ年計画で取り組む。

町長

昨年からの世界的不況は当町にも波及しており、国の補正予算により緊急雇用対策を行っている。9月補正でも各地区からの土木事業等の要望の早期実施のため3千6百万円を計上したがこれも雇用対策の一環でもある。地名の若者定住促進住宅の建設が完了し現在16世帯51名が入居しており成果が上がってきている。

林業

【林業】FSC森林認証の取得で各位の努力をアピールする手段として。菌床椎茸製造施設を建設中であるが、産地化を目指し町を挙げて支援していく。

質問

公共事業の計画、発注にあたって、地元

観光

【観光】「町かど博物館」での誘客、フレイバーティ等お土産品の開発など大井川地域の観光力の向上を図っている。

町長

公共工事の発注にあたっては、仕事が年間を通じて平準化するよう早期発注に配慮している。

問

●インフルエンザ予防接種に子供への補助を
●買う義務もない官行造林の購入は中止を

答

●中学生まで全ての子供に240万円かかる
●300万円くらいなら理解得られると思う



鈴木多津枝議員

質問 インフルエンザ予防接種に子どもにも町の補助を。その場合幾ら必要か？

町長 昨年の罹患状況は小学生75名、中学生30名。県内では富士宮市が10月より市単独補助を始める。当町で中学3年生までの子供全員に全額補助した場合240万円かかると試算している。今後、国・県の動向を見ながら検討したい。新型ワクチン接種は主体が国なので国の支援の動向を見極めて検討する。

質問 ①町職員等の宿泊施設となつて久しい徳山診療所の活用について。

町長 ①平成22年度で補助制限期間も終了する。地域の意見や町内医師連絡会の意見を聞きながら検討したい。②「現在の形で利用」という結論が出ており、新たな施設整備は考えていない。しかし、いきいきクラブや区長連合会の一部の方から要望も頂いており、やるという前提では無いがどのようなものが可能か調べる必要がある。創造と生きがいの湯は300日開き1日平均15人利用している。身近にある人とそうでない人の不公平感の解消は必要と思っている。

質問 買う義務も根拠も無い官行造林の300万円もの買い取り中止を。

町長 国は管理していない状況。無償譲渡は要望し続けるが予算は通っているので予定通り購入し今後も予算措置して購入し続けて町有林として管理していきたい。19ha近くで300万円位なら理解得ら

要と思っている。

問

●地場産業の立て直し

答

●茶業関係団体と茶産地が一体となった消費拡大戦略を図っていく



高畑雅一議員

質問 地場産業である茶業を今後どのように導いていくのか。

町長 茶業界を取り巻く状況は厳しく、年々緑茶いわゆるリーフ茶の年間主要消費量が減少傾向にあり、県・茶業会議所等の指導機関をもとより、流通を担う茶業関係団体及び農協等と茶産地が一体となった消費拡大戦略を図っていくことが必要である。昨年度、農家に対する今後の農業経営に関する意向調査を実施し、その結果、集計・分析を行いました。これらの状況を基に、川根茶及び当町の農業の状況の再確認・再認識を進め、農業振興策を講じていくほか、消費側における川根茶の現状を再確認するマーケティング調査を実施するなどして、川根本町農業振興計画（仮称）策定を進め、活力ある農業振興によるまちづくりを目指していく。マーケティング調査は今後の川根茶の振興に生かすための調査であるので、消費者・流通業者・流通段階で求められるお茶を把握できるように調査をしていく。川根茶をさらに高級茶にするため、どのようなことを加味して生産をし、品質を上げていけばより市場力を持つのか調査し、販売戦略を見つけていきたい。

川根茶業センター



川根茶業センター

問

- ①当町の財政状況は
- ②ブロードバンドは財政に影響するか
- ③職員は130人台まで減らすか

答

- ①健全化指標では、財政は健全
- ②大きな影響はないと想定
- ③基本はそうだが、状況を見守る



板谷 信議員

質問 平成20年度決算における財政健全化指標をどう評価するか。

町長 実質公債費比率は11.8%で昨年より1.1ポイント上がっている。将来負担比率は32.7%で昨年度より30.6ポイント下がっている。いずれも県下でも低い方にあたり、財政健全化指標からは、当町は健全な財政運営である。

質問 ブロードバンド、移動通信などの大型事業を行なった場合に、実質公債費比率及び将来負担比率にどのような影響があるか。

町長 ちなみに、ブロードバンド事業を行った場合を想定してみると、さほどの変化のない10%から12%の間というような数値が想定される。将来負担比率でも30%台で大きな変化がないと想定される。

質問 公の施設のあり方に関する行革推進委員会の答申の中に、資料館と音戯の郷を指定管理にという提案がなされているが。

町長 指定管理にすれば即課題が解決するとはいれない。まず町として運営内容のプランを描きながら、手を挙げてくれる管理主体を探していくような手順をとりたい。

質問 20年度決算では、人件費は前年度より1億円を超える減額となり経常収支比率も改善されてきている。職員数を130人台に減らすという考えは見直すべきでは。

町長 将来地方交付税が通常のベースに戻るとすると、130人体制まで持つていかないと投資に回す資金がないのではないかと思う。しかし状況を見守りながら、可能ということになれば新たな定員管理も考える必要がある。

質問 公の施設のあり方に関する行革推進委員会の答申の中に、資

6月議会でブロードバンド整備基本方針策定業務委託料630万円が可決されました。合併の新町建設計画に盛り込まれた12億円の事業（H22～23年）で賛否が多く、10月の選挙で新しくなる議会へ問題点や考え方を引き継ぐと急遽、先進地の道志村を視察しました。標高600m、総面積7千450haの95%が森林で、年100万人の観光客が訪れ、横浜市は水瓶の森を守るために森林の3割を所有し年1億円余を寄付金で入れています。ブ



保健師によるテレビ通話

ロードバンド整備は総額4億円、内約8割は補助金等を充て、村の持ち出しは7千万円。62kmの光ファイバー幹線を敷設、一部をNTTへ貸

山梨県道志村へブロードバンド視察

報告者 第一常任委員長 鈴木多津枝

Tへ貸与し年380万円入る貸付料を維持管理費900万円に充てています。各世帯に端末機を入れ、7月より行政情報提供や保健福祉、学校教育に活用。研修では保健師が高齢者と実際にテレビ電話で対話し健康チェック。サーバー室も見せてもらいました。後日報告会を開き、福祉や情報格差解消、財政面などがら活発に意見が交わされ、9月議会では、今後も議会や住民への十分な情報提供し、意見を聞いて、慎重に前向きに悔いを残さない取組を行政に求めました。



サーバー室の見学



研修風景

議員選出役職員

(平成21年10月27日現在)

委員会名	委員名	
消防委員会委員（2人）	高畑 雅一	中野 暉
国民保護協議会委員（1人）	中澤 智義	
総合支所建設委員会委員（2人）	市川 昌美	山本 信之
バス路線対策会議委員（1人）	鈴木 多津枝	
地域公共交通会議委員（1人）	鈴木 多津枝	
千年の学校理事（1人）	森 照信	
まちづくり基本条例策定委員会委員（2人）	鈴木 多津枝	森 照信
商工観光委員会委員（2人）	小藪 侃一郎	中田 隆幸
温泉審議会委員（4人）	板谷 信	高畑 雅一
	小藪 侃一郎	中野 暉
長島ダム対策委員会委員（4人）	板谷 信	高畑 雅一
	原田 全修	中田 隆幸
国民健康保険運営協議会委員（2人）	中澤 智義	山本 信之
廃棄物減量等推進協議会委員（2人）	鈴木 多津枝	森 照信
いやしの里診療所運営委員会委員（1人）	市川 昌美	
保育所運営委員会委員（2人）	市川 昌美	山本 信之
保健、福祉サービス推進協議会委員（2人）	板谷 信	高畑 雅一
社会福祉協議会理事（1人）	板谷 信	
社会福祉協議会評議員（1人）	中澤 智義	
民生委員推薦会委員（2人）	中澤 智義	山本 信之
林業振興対策協議会委員（1人）	原田 全修	
林業振興基金運営委員会委員（1人）	原田 全修	
農業振興地域整備促進対策協議会委員（1人）	太田 侑孝	
農林業センター運営委員会委員（1人）	高畑 雅一	
自然休養村管理センター運営協議会委員（1人）	原田 全修	
水道運営委員会委員（2人）	小藪 侃一郎	中野 暉
水防協議会委員（1人）	中野 暉	
町営住宅入居者選考委員会委員（1人）	中田 隆幸	
奨学生選考委員会委員（1人）	中田 隆幸	
学校給食共同調理場運営委員会委員（1人）	太田 侑孝	
社会教育委員会委員（1人）	太田 侑孝	
生涯学習推進会議委員（1人）	板谷 信	
社会教育施設運営委員会委員（1人）	太田 侑孝	
国民文化祭川根本町実行委員会委員（2人）	板谷 信	高畑 雅一
資金管理運営委員会委員（2人）	板谷 信	小藪 侃一郎

※議会申し合わせ事項として、議員は委員会の長には原則就任しないものとする。

議 会 日 誌

7月

- 1日 第2回定例会(6月議会)最終日
- 14日 大井川の清流を守る研究協議会(お茶の郷)
- 21日 土木事務所事業説明会(徳山防災コミュニティ)



<土木事業説明会>



<市町議会議員研修会>

8月

- 7日 山梨県道志村視察
- 24日 市町議会議員研修会(グランシップ)
- 27日 静岡市・川根本町バイパス建設促進期成同盟会(清沢生涯学習交流館)

9月

- 2～17日 第3回定例会(9月議会)
- 10日 町内現地調査
- 12～26日 小中学校運動会
- 29日 町長・町議選挙告示



<寸又峡温泉街あかりアート展>



<寸又峡プロムナードコース(夢の吊橋)現地調査>

10月

- 5日 町長・町議当選証書授与式
- 15日 議員研修会(講師:全国町村議会議長会)寸又峡あかりアート展 点灯式
- 20日 初議会(第2回臨時会)

編集後記

9月の定例会後、議会議員の改選があり、「議会だより」の発行が遅れました。10月20日の臨時会にて委員の構成が決まり、私達が今後一年間「議会だより」を担当し編集に当る事となりました。今後町民の声や、一般質問等が、行政にどう反映されたか、検証等も掲載し、構成内容等も改め、町民の皆様が読みやすく、親しみやすい「議会だより」にするよう委員一同一層の努力をしていきます。

(N・T)

12月議会の予定

- 12月8日(火) 定例会開会
9時～(一般質問締切)
 - 17日(木) 定例会最終日
9時～(一般質問)
- ※皆さんお誘い合せて傍聴にお出かけ下さい。



編集風景

編集委員

(第一常任委員会)

- 委員長 中澤智義
- 副委員長 山本信之
- 委員 板谷信
- 鈴木多津枝
- 市川昌美
- 森照信